

じゅうにきょう

## 19. 十二橋めぐり (潮来市・香取市)

前川にかかった12の橋を、舁(かすり)のもんべに潮来笠スタイルの女船頭さんの操るサッパ舟に乗って、たっぷりとお郷情緒を味わうことができます。十二橋めぐりには、「前川十二橋めぐり」と「加藤洲十二橋めぐり」があり、6月のあやめまつり期間中は、前川十二橋めぐりにて昔ながらの櫓(ろ)漕ぎ舟も運航され、水郷の名所となっています。



いさすじんじや

## 20. 息栖神社 (神栖市)

二千数百年の歴史をもつ息栖神社は、鹿島神宮、香取神宮とともに東国三社のひとつとして数えられた由緒ある神社です。弘化4年(1847年)の建築と伝えられる神門をくぐると、マツヤスギの老木が繁る参道があります。俳人・松尾芭蕉の句碑もあり「この里は 気吹戸主の 風寒し」と刻まれています。



まつ

## 21. 「きらっせ祭り」 (神栖市)

「きらっせ祭り」は、市民のコミュニケーションの輪を広げることをテーマに、毎年8月下旬に開催されます。神輿や鳴り物など熱気あふれるイベントで会場は一気にヒートアップし、短時間に5000発の花火が連続して打ち上げられ祭りを締め括ります。夏の終わりを告げる市の風物詩として人気を博しています。



すわじんじや

## 22. 諏訪神社 (東庄町)

諏訪神社には、侠客笹川繁蔵が建てた野見宿禰(のみのすくね)の碑があり、相撲好きだった繁蔵を偲んで7月の秋季例祭(繁蔵まつり)には町内の力自慢やチビッ子を集めての相撲大会が開催されます。また神社の隣には繁蔵愛用のキセルや三度笠、古文書などを展示した「天保水滸伝遺品館」があります。



ちやしぎょう

## 23. 銚子漁港 (銚子市)

銚子漁港は、東北地方などから江戸へと積荷を運ぶ利根川水運の発展とともに、海上輸送による積荷を川船に積み替える中継港として大いに栄えました。銚子の沖合は親潮と黒潮が交錯し、この海流に乗って回遊する魚種が豊富で良好な漁場として知られています。全国屈指の水揚げ量を誇る銚子漁港には、イワシ、サンマ、サバ、カツオ、マグロ、タイ、ヒラメなどが水揚げされ、鮮魚として全国各地に送られています。



いぬぼうさきとうだい

## 24. 犬吠埼灯台 (銚子市)

豪快な犬吠埼の突端にそそり立つ白亜の塔、犬吠埼灯台は明治7年に英国人技師リチャード・ヘンリー・ブランドンの設計により造られた西洋型第一等灯台で、日本で24番目に点灯されました。平成10年には「世界の歴史的灯台100選」にも選ばれています。99段のらせん階段を昇った眺望は太平洋の孤島に身を置いたかのように錯覚させるほど雄大です。灯台敷地内には、灯台の歩み、機能、役割の解説など、犬吠埼灯台の歴史・文化価値を学べる資料館があります。



### 【なるほどメモ】

関東の最東端に位置する犬吠埼は、富士山頂や一部の離島を除けば、日本で一番早く初日の出が見られる場所としても有名です。日本の最東端は北海道根室市の納沙布岬ですが、季節により地軸の傾きが変化することから、冬季(元旦前後の約10日間)に限り、犬吠埼が日本で一番早く日の出を見ることができます。毎年元旦の犬吠埼周辺は、日本で一番早い初日の出を見るため、多くの人が賑わっています。

